

製品名: Hox-B9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12175**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	HOXB9
別名	HOXB9; HOX2E; Homeobox protein Hox-B9; Homeobox protein Hox-2.5; Homeobox protein Hox-2E
遺伝子 ID	3219.0
SwissProt ID	P17482
免疫原	抗血清はヒト HOXB9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

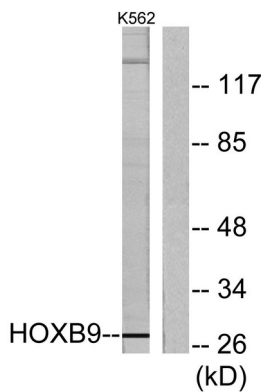
背景

この遺伝子は Abd-B ホメオボックスファミリーに属し、ホメオボックス DNA 結合ドメインを持つタンパク質をコードしている

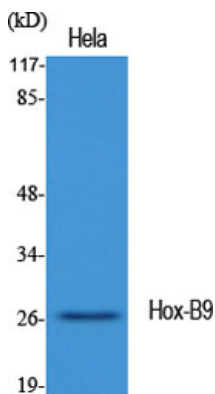
す。17番染色体に位置するホメオボックスB遺伝子群に含まれています。コードされている核タンパク質は、細胞の増殖と分化に関する配列特異的転写因子として機能します。この遺伝子の発現増加は、白血病、前立腺がん、肺がんの一部の症例と関連しています。[RefSeq提供、2008年7月]、発生段階：受胎後5~9週の胚および胎児全体で発現します。機能：細胞に前後軸上の特定の位置的アイデンティティを与える発生制御システムの一部である配列特異的転写因子。類似性：Abd-Bホメオボックスファミリーに属します。類似性：1つのホメオボックスDNA結合ドメインを含みます。

研究分野

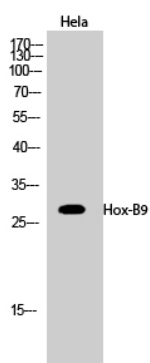
画像データ



HOXB9抗体を用いたK562細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000に希釈したHox-B9ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



1: 1000に希釈したHox-B9ポリクローナル抗体を使用したHeLa細胞のウェスタンブロット分析。